

## はしがき

SFのショートショートと言うと、すぐに思いつく作家は星新一(1926-97)であろう。星新一は生前1~3ページ程度のごく短い、あっと驚く結末を盛り込んだSF小説を多数発表し、「ショート・ショートの神さま」と呼ばれた。その一部は平成19年よりNHKの「星新一ショートショート劇場」、「星新一ショートショート」でドラマ化され、人気を博している。

星新一に比べ、フレドリック・ブラウンは日本ではあまりなじみのない作家なので、本書で初めて名前を聞いたという方も多いと思うが、実は彼こそ星新一流SFショートショートの元祖的存在なのである。というのも、星新一がSFの世界に入るきっかけとなったのは、アメリカのSF作家レイ・ブラッドベリ(1920-)の『火星年代記』を読んだことであるが、そのブラッドベリの先輩格にあたるのが、このフレドリック・ブラウンだからだ。

フレドリック・ウィリアム・ブラウン(Fredric William Brown, 1906-72)は、アメリカのオハイオ州シンシナティの出身。数々のSF小説、ミステリー小説、ファンタジー小説を発表しているが、そのどれもが奇抜なプロット展開、巧みな語りで読者を魅了してやまない。まさに知る人ぞ知るSF小説の巨匠だ。SFの代表作としては、*What Mad Universe*(『発狂した宇宙』)(1949)、*Martians, Go Home*(『火星人間ゴーホーム』)(1955)などがある。

彼はまた多数のショートショートも著している。*Nightmares and Geezenstacks*(『未来世界から来た男—SFと悪夢の短編集』)(1961)はショートショート・ファンにお薦めだ。(ただし、ショッキングなものは苦手だという人はやめておいた方がよいかもしれない……)

本書は彼の短編小説集*Angels and Spaceships*(1954)のうち7編を収録している。そのどれもが意外な結末を用意しているので、おおいに楽しんでいただきたい。また、英語の文章自体もただ読みやすいというだけでなく、よく練られた質の高いものなので、**鑑賞のポイント**を参考にして味わいながら読んでほしい。

本書の学習を通じて読者の皆さんが英語力を向上させるのみならず、フレドリック・ブラウンの小説世界を堪能し、英語の小説を原語で読む楽しさを実感してくれることを切望する。

本書の刊行にあたっては、開文社出版の安居洋一社長より全面的に多大なご協力をいただいた。さらに、企画段階で意見を出してくれた水産大学校平成21年度入学生諸君のみならず、執筆段階で有益な助言をくださった山口大学の宮原一成氏、表紙絵とイラストすべてを描いてくださった鈴木文生氏にも大変お世話になった。この場を借りて心より謝意を表したい。

# 目次

<b>UNIT 1 Daisies (1)</b> .....	1
(読解のポイント)	隠れている成句表現を見つけ出そう
(プラスワンポイント)	強調表現
<b>UNIT 2 Daisies (2)</b> .....	7
(読解のポイント)	基本動詞の概念をつかもう (1)
(プラスワンポイント)	as
<b>UNIT 3 Sentence (1)</b> .....	13
(読解のポイント)	主節の主語・述語動詞を見つけよう
(プラスワンポイント)	受動態
<b>UNIT 4 Sentence (2)</b> .....	19
(読解のポイント)	基本動詞の概念をつかもう (2)
(プラスワンポイント)	make it
<b>UNIT 5 Pattern (1)</b> .....	25
(読解のポイント)	過去形「～した」と過去分詞形「～された」を見分けよう
(プラスワンポイント)	ハイフン
<b>UNIT 6 Pattern (2)</b> .....	31
(読解のポイント)	時制に気をつけよう
(プラスワンポイント)	<経験>・<行為>を表す have
<b>UNIT 7 Solipsist (1)</b> .....	37
(読解のポイント)	and が結ぶものを見つけよう
(プラスワンポイント)	in ～ と out of ～
<b>UNIT 8 Solipsist (2)</b> .....	43
(読解のポイント)	関係代名詞の省略を見抜こう
(プラスワンポイント)	動詞として使える名詞

**UNIT 9 Preposterous (1)** ..... 49

読解のポイント 類義語はひとまとめで考えよう

プラスワンポイント indeed

**UNIT 10 Preposterous (2)** ..... 55

読解のポイント 知らない単語の意味は接辞・語根から推測しよう

プラスワンポイント 未来社会の発明品

**UNIT 11 Reconciliation (1)** ..... 61

読解のポイント 場面を思い描きながら読もう

プラスワンポイント come

**UNIT 12 Reconciliation (2)** ..... 67

読解のポイント 「形容詞＋名詞」で多彩な表現をしよう

プラスワンポイント 読点の使い分け

**UNIT 13 Answer (1)** ..... 73

読解のポイント 関係代名詞の訳は「ところの」でなくても良い

プラスワンポイント 名詞・動詞とペアを組む前置詞

**UNIT 14 Answer (2)** ..... 79

読解のポイント 難解な単語に振り回されないようにしよう

プラスワンポイント 意味を強調したり、はっきりさせるための言葉

## Unit 1

# Daisies (1)

マイケルソン博士が植物の考えを読み取る装置を発明した！ その装置をつけたマイケルソン夫人が取った行動とは？



### Vocabulary Check

1～6の単語の意味として適当なものを(A)～(F)から選び、その記号を( )内に書こう。

- |               |     |                 |     |
|---------------|-----|-----------------|-----|
| 1. equipment  | ( ) | 4. belief       | ( ) |
| 2. experiment | ( ) | 5. intelligence | ( ) |
| 3. popular    | ( ) | 6. floral       | ( ) |

- (A) of or for a lot of people
- (B) anything kept or provided for a specific purpose
- (C) of flowers
- (D) a scientific test
- (E) the ability to understand, learn and think
- (F) something that you accept as true

## Reading

読解のポイント を手がかりにして読んでみよう。

Dr. Michaelson was showing his wife, whose name was Mrs. Michaelson, around his combination laboratory and greenhouse. It was the first time she had been there in several months and quite a bit of new equipment had  
5 been added.

鑑賞のポイント

“You were really serious then, John,” she asked him finally, “when you told me you were experimenting in communicating with flowers? I thought you were joking.”

読解のポイント

“Not at all,” said Dr. Michaelson. “Contrary to popular  
10 belief, flowers do have at least a degree of intelligence.”

読解のポイント

プラスワンポイント

“But surely they can’t talk!”

“Not as we talk. But contrary to popular belief, they do communicate. Telepathically, as it were, and in thought pictures rather than in words.”

読解のポイント

15 “Among themselves perhaps, but surely —”

“Contrary to popular belief, my dear, even human-floral communication is possible, although thus far I have been able to establish only one-way communication. That is, I can catch their thoughts but not send messages from my  
20 mind to theirs.”

読解のポイント

読解のポイント

### Notes

- 2 combination laboratory and greenhouse : 実験室兼温室
- 13 telepathically < telepathy
- thought picture : 心に思い浮かべた映像

## 読解のポイント

隠れている成句表現を見つけ出そう

**Telepathically, as it were, and in thought pictures rather than in words.** (本文 13 ~ 14 行目より)

上の文の as it were は、単語をそのまま日本語にしても意味がわからない。このような場合には、しばしば成句が隠れている。成句をたくさん知っておくことはもちろん大事だが、まずは英文の中にある成句らしい表現を拾い出す勘を養おう。

## 練習

次の成句表現は本文より抜き出したものである。それぞれの意味を辞書で調べ、それらの成句を用いた例文とその和訳を1つずつ抜き出して書き写そう。

1. quite a little ~ = quite a bit of ~ ( ) (本文 4 行目)

.....  
.....

2. at least ( ) (本文 10 行目)

.....  
.....

3. as it were ( ) (本文 13 行目)

.....  
.....

4. so far = thus far ( ) (本文 17 行目)

.....  
.....

5. that is to say = that is ( ) (本文 18 行目)

.....  
.....

## プラスワンポイント

## 強調表現

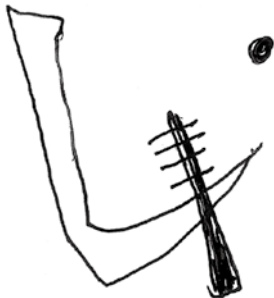
**Flowers do have at least a degree of intelligence.** (本文 10 行目より)

**They do communicate.** (本文 12 ~ 13 行目より)

「do (does, did) + 動詞の原形」によって、動詞を強調することができる。訳語としては、「実際に」「本当に」「ちゃんと」などを用いることが多い。

## 練習

強調表現を用いた例文とその和訳を、手持ちの辞書から1つ抜き出して書き写そう。

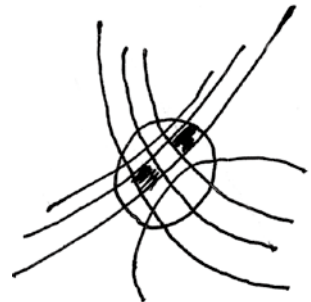


## 鑑賞のポイント

**Dr. Michaelson was showing his wife, whose name was Mrs. Michaelson, around his combination laboratory and greenhouse.** (本文1～3行目より)

“Contrary to popular belief”を繰り返し、得々として妻に自分の発明を説明するマイケルソン博士と、従順な様子で話に耳を傾ける妻、マイケルソン夫人。普通、whose name was とくると、Jane や Alice などのファースト・ネームが続くものであるが、ここではただの Mrs. Michaelson となっている。ファースト・ネームの場合と比べると、読者の受ける印象はどう違うだろうか。あなたの感想を下に書こう。

実は、ただ「マイケルソン夫人」となっているのは、小説のオチに向けて周到に張られた伏線なのである。このことを念頭において、後半部分を読んでみよう。





## Translation

Translate the following sentences into English.

1. 先週の日曜日、妻とショッピングに行った。お休みをとったのは数週間ぶりだった。  
(a day-off) (本文3～4行目を参考にして)

.....  
.....  
.....

2. 昨日あなたが私と結婚したいと言ったのは、冗談ではなかったのね。  
(本文6～8行目を参考にして)

.....  
.....  
.....

3. 私の予想に反して、彼は土曜日の試合に負けてしまった。(expectation)  
(本文9～10行目を参考にして)

.....  
.....  
.....

4. その小説を理解するためには、キリスト教についてのある程度の知識を持つておく  
ことが必要だ。(possess, Christianity) (本文10行目を参考にして)

.....  
.....  
.....